

視聴覚教育

NO. 412
発行日
27. 5. 29

発行
岡崎市 A V L
編集
現職研修委員会
学習情報部

これ知ってる!?

「スマートウォッチ」
様々なウェアラブルデバイス(身に付けられる情報機器)の中でも、特に腕時計型のものを指す。時間を表示するだけでなく、健康に関する情報の表示など様々な機能をもつ。スマートフォンとの連携により、より多くの機能をもたせることのできる機種が多い。

今、視聴覚・情報教育に求められるもの

現職研修委員会学習情報部長 本間 茂夫

文部科学省「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について(諮問)」の中で、新学習指導要領の基本的な考え方が示されています。ここで、教育改革のキーワードとしてアクティブ・ラーニングが挙げられています。これは、知識の質・量の改善に加え、学びの質や深まりを重視し、学習者が問題解決学習やグループ・ディスカッションなどを通して、より能動的に活動に取り組む学習展開です。予測困難な時代を生きる子供たちに、答えのない問題に仲間と協働して解決策を模索できるような、表現力や協調性を身につけていくことが重視されているのです。

昨年度岡崎市は、学校規模に合わせて20台から60台のタブレット端末を全中学校に導入しました。これに合わせて、情報教育推進委員会からタブレット端末を有効活用できるように数学科・理科・英語科の授業モデル案が示されました。これらを活用した授業では、問題を解決するためにタブレット端末上で図を操作したり、グループで資料を見ながら話し合いをしたりする学習が多く展開されました。タブレット端末の導入をきっかけに、子供が表現力や協調性を培

い、能動的に活動する学習へと授業革新に勢いがついていきます。今年度もこうした流れを、継続深化させていく必要を感じます。

また、昨年度行った調査により本市の子供たちの八割以上が、日常的にインターネットを活用しているという事実が明らかになりました。このことは、子供たちがネット依存やネット上でのトラブル・事件などといったリスクと隣り合わせで生活していることを意味します。今までも情報モラル育成には力を入れてきましたが、子供たちの幸せのために、今年度も力を注いでいく必要があります。

さらに、子供たちを守るために私たち教員も情報社会と真剣に向き合う必要があります。それは、著作権や肖像権の保護、情報漏えい防止に向けた取組みなど、情報セキュリティに対する意識を高めていくことを意味します。つまり、教員自身の意識改革も重要なのです。授業革新、情報モラル育成、情報セキュリティ意識向上。これらの達成を通して私たちが目指すものは、子供たちが情報社会を主体的かつ安全に「生きる力」を育むことです。学習情報部はこうした目標のもとに、今年度も子供を中心に据えた実践を積み上げ、岡崎の子供たちの成長に寄与したいと考えます。

|| 視聴覚教育あれこれ || 平成二十七年学習情報部方針決定!

研究主題

子供に「生きる力」を育み、子供の「安全を守る」ICTの効果的な活用

研究の重点

目標

- ① 情報活用能力を身に付けるための、効果的なICTの活用実践と研究の推進
- ② 教育の質的向上と多忙化解消につながる校務の情報化推進
- ③ 情報モラルの育成や情報セキュリティ意識向上のための実践と研究の推進

各主任部会の活動

〔広報部会〕

「視聴覚教材・機器利用の手引き」の編集・発行
研究誌「岡崎の視聴覚教育」の編集・発行
月報の原稿執筆と発行 など

〔研修部会〕

各種研修会の計画・実施
校内研修の促進と実績報告の集約
パソコンソフトの活用促進と実績集約
NHK学校放送番組関連連表の作成 など

〔実践部会〕

自作教材の活用事例の集積
授業の実践と原稿執筆
デジタルコンテンツの収集
学習情報部のホームページの作成・充実 など

「視聴覚教材・機器利用の手引き」第20集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、自作ビデオ教材の活用事例などが掲載されています。市内全教職員に配付しましたので、御活用ください。

平成二十七年 度組織

部長

本間 茂夫 (岩津小)
市川 敏彦 (生平小)
名倉 嘉章 (新香山中)

担当指導主事

森 竜師 (教育委員会学校指導課)
岡 秀之 (視聴覚ライブラリー)

指導員

内田 雅之 (北野小) 村田 貴志 (井田小)

世話係

杉山 康子 (生平小) 成瀬 正和 (羽根小)
近藤 雄一 (東海中) 鈴木 一史 (竜海中)

各部世話係

〔広報部会〕

近藤 雄一 (東海中) 鈴木 一史 (竜海中)
三輪 恭之 (六美中) 高瀬 玲子 (愛宕小)

〔研修部会〕

成瀬 正和 (羽根小) 坂田 健一 (岡崎小)
森 綾子 (下山小) 神野 裕美 (六西小)
岩川 皓司 (葵 中)

〔実践部会〕

杉山 康子 (生平小) 井上 清美 (夏山小)
太田 尚志 (北 中) 中山美奈子 (矢南小)
水野 利明 (六名小) 内田 敏明 (北野小)

各種大会・研究会の案内

《研究会》

- ・三教研 ICT活用研修会 (八月五日)
- ・県放送教育特別研究大会 (八月二十一日)
- ・県学校視聴覚教育研究大会 (十一月十一日)

※他にも多くの大会や研究会が予定されています。

《研修会》

- ・ビデオ講習会 (七月二十五日)
- ・授業力アップセミナー (七月三十一日)

※この他に学習情報部の自主研修会 (TAV) も六回予定されています。
是非、御参加ください。

《研究論文》

- ・パナソニック教育財団実践教育助成
- ・東京書籍教育賞

・ちゅうでん教育振興助成、ちゅうでん教育大賞
※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。
ます。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

- ・岡崎市ふるさとメディアコンクール
- ・愛知県自作視聴覚教材コンクール
- ・RISO「育て！プリントコミュニケーション」コンクール
- ・JR四国「コラボ実践コンテスト」

《児童・生徒のコンクール》

- ・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・全国子ども科学映像祭
- ・パナソニック「KWN」コンテスト
- ・学習ソフトウェアコンクール

ライブライブラリーだよ

所長

小野 鋼二

所長補佐

岡 秀之

職員

鳥居 貴浩 和田 勝則
西村 知江 佐藤 和恵



新年度がスタートしました。ライブライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者を対象に次のような支援をしています。御活用ください。

●教材・機材の貸出し

教材・機材の検索や予約はライブライブラリーのホームページから簡単にできます。特に教材は、巡回郵便を利用して受け取ったり返却したりすることも可能です。昨年度、購入したばかりのDVD教材もあります。授業やお昼の校内放送などで御活用ください。

●リクエスト講習会

撮影や編集の支援を行っています。児童・生徒によるビデオ制作、先生方へのビデオ教材制作講習会等のお手伝いにライブライブラリー職員が伺います。また、学校行事等の撮影や編集、番組制作の支援も行います。

●情報モラル出前講座

ネットインストラクターを派遣して、ネット社会の危険な現状を保護者や地域の方々に伝えたり、子供たちをネット社会の闇から守っていくための具体的な手立てについて話したりします。